

「1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果」 の変更について

2019/11/28



東京電力ホールディングス株式会社

「1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果」の変更について **TEPCO**

- 「1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果」では、1～4号機原子炉建屋の追加的放出量と放出に伴う敷地境界における被ばく線量を毎月公表している。
- 放出に伴う影響を理解いただくために、公表資料をわかりやすくする工夫が必要であり、記載内容を見直すこととした。
- 主な変更箇所
 - 一般公衆への影響が理解しやすくなるように、被ばく線量基準値と比較した記載とし、被ばく線量のグラフに変更した。
 - 別紙を一覧表形式に変更するとともに、一覧表の解説を作成した。
 - 被ばく線量評価の計算手法を5／6号機の寄与（年間稼働率80%の運転時の推定放出量で評価したもの）を一律加算する方法から、測定結果を元にした被ばく線量を評価する手法に変更した。（詳細は次ページ）

被ばく線量計算について

- 被ばく線量は、1～6号機全体からの影響をお知らせする観点から、1～4号機追加的放出量の被ばく線量評価に5、6号機からの影響を一定値（運転時の想定放出量から評価：約0.17μSv/年）加算していた。
- 運転時想定の5、6号機の被ばく線量を加算した場合、最近では5、6号機の割合が大きく(約80%)、1～4号機の放出による影響がわかりにくくなっていた。
- 実態により近づけるため、5、6号機も粒子状物質の測定結果を元にした被ばく線量を評価し、検出された場合は、1～4号機による被ばく線量評価に加算することとする。



被ばく線量の評価式の変更について

- 変更前の被ばく線量の評価式

$$\text{被ばく線量}(\mu\text{Sv}/\text{y}) = \text{1~4号機からの追加的放出量による被ばく線量} + \text{5・6号運転時の想定放出量による被ばく線量}$$

設置許可に記載されている年間稼働率80%の通常運転下での想定放出量より評価
 約1.7E-1($\mu\text{Sv}/\text{y}$)

- 変更後の被ばく線量の評価式

$$\text{被ばく線量}(\mu\text{Sv}/\text{y}) = \text{1~4号機からの追加的放出量による被ばく線量} + \text{5・6号からの追加的放出量による被ばく線量}$$

測定結果が「発電用軽水型原子炉施設における放出放射性物質の測定に関する指針」に定める測定下限濃度を超えた場合には「発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針」、「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に対する評価指針」、および「発電用軽水型原子炉施設の安全審査における一般公衆の線量評価について」に基づき被ばく線量を評価する。

被ばく線量評価値の計算手法変更前後表

TEPCO

変更前の被ばく線量評価値および5、6号機分を測定結果を元に評価した被ばく線量を示す。

評価対象年月	被ばく線量(μSv/y) 変更前	被ばく線量(μSv/y) 変更後	評価対象年月	被ばく線量(μSv/y) 変更前	被ばく線量(μSv/y) 変更後
2015年4月	<2.7	<2.5	2017年7月	<0.21	<0.04
2015年5月	<1.6	<1.4	2017年8月	<0.21	<0.04
2015年6月	<2.5	<2.3	2017年9月	<0.33	<0.16
2015年7月	<0.92	<0.75	2017年10月	<0.25	<0.08
2015年8月	<1.2	<1.0	2017年11月	<0.22	<0.05
2015年9月	<3.2	<3.0	2017年12月	<0.35	<0.18
2015年10月	<1.9	<1.7	2018年1月	<0.47	<0.30
2015年11月	<1.1	<0.93	2018年2月	<0.69	<0.52
2015年12月	<1.5	<1.3	2018年3月	<0.36	<0.19
2016年1月	<1.4	<1.2	2018年4月	<0.23	<0.06
2016年2月	<0.68	<0.51	2018年5月	<0.25	<0.08
2016年3月	<0.87	<0.70	2018年6月	<0.22	<0.05
2016年4月	<0.68	<0.51	2018年7月	<0.29	<0.12
2016年5月	<0.62	<0.45	2018年8月	<0.45	<0.28
2016年6月	<0.29	<0.12	2018年9月	<1.10	<0.93
2016年7月	<0.25	<0.08	2018年10月	<0.44	<0.27
2016年8月	<0.32	<0.15	2018年11月	<0.22	<0.05
2016年9月	<0.37	<0.20	2018年12月	<0.29	<0.12
2016年10月	<0.33	<0.16	2019年1月	<0.22	<0.05
2016年11月	<0.69	<0.52	2019年2月	<0.47	<0.30
2016年12月	<0.27	<0.10	2019年3月	<0.22	<0.05
2017年1月	<0.29	<0.12	2019年4月	<0.22	<0.05
2017年2月	<0.34	<0.17	2019年5月	<0.23	<0.06
2017年3月	<0.24	<0.07	2019年6月	<0.25	<0.08
2017年4月	<0.34	<0.17	2019年7月	<0.24	<0.07
2017年5月	<0.26	<0.09	2019年8月	<0.27	<0.10
2017年6月	<0.28	<0.11	2019年9月	<0.23	<0.06

2015年3月以前は被ばく線量を約30μSv/yと評価しており、計算手法を変更しても値は変わらない